

トクヤマ APミキサー 交換用逆止弁(4個) 取扱説明書

交換作業の前に本取扱説明書の注意事項をよくお読み下さい。

交換用逆止弁とは

交換用逆止弁は、トクヤマAPミキサーⅢ、トクヤマAPミキサーⅡおよびトクソーAPミキサーのペースト吐出口に設置されている逆止弁の交換部品です。

逆止弁は、吐出されたペーストの逆流防止と、ミキサー配管内にあるペーストの乾燥防止のために、図1の部分に設置されています。逆止弁が変形した場合や、ちぎれた場合は、逆流・乾燥防止の機能が失われるため、配管内の詰まり、ペーストの吐出不良や混合ムラが発生します。逆止弁の変形によってこれらの症状が発生した場合には、新しい交換用逆止弁と交換して下さい。(3ヶ月に一度の定期交換をおすすめします。)

⚠️ 注意事項

- 交換作業は、APミキサー本体の電源コードを抜いてから行って下さい。
- 本品はトクヤマAPミキサーⅢ、トクヤマAPミキサーⅡ及びトクソーAPミキサー専用の交換用逆止弁です。他の用途には使用しないで下さい。
- 逆止弁は消耗品です。使用とともに変形が起こりますので、図2のような状態が確認された場合には交換用逆止弁と交換して下さい。
- トクヤマAPミキサーⅢ、トクヤマAPミキサーⅡまたはトクソーAPミキサーの操作に関しては、ミキサー本体に添付の取扱説明書を参照して下さい。

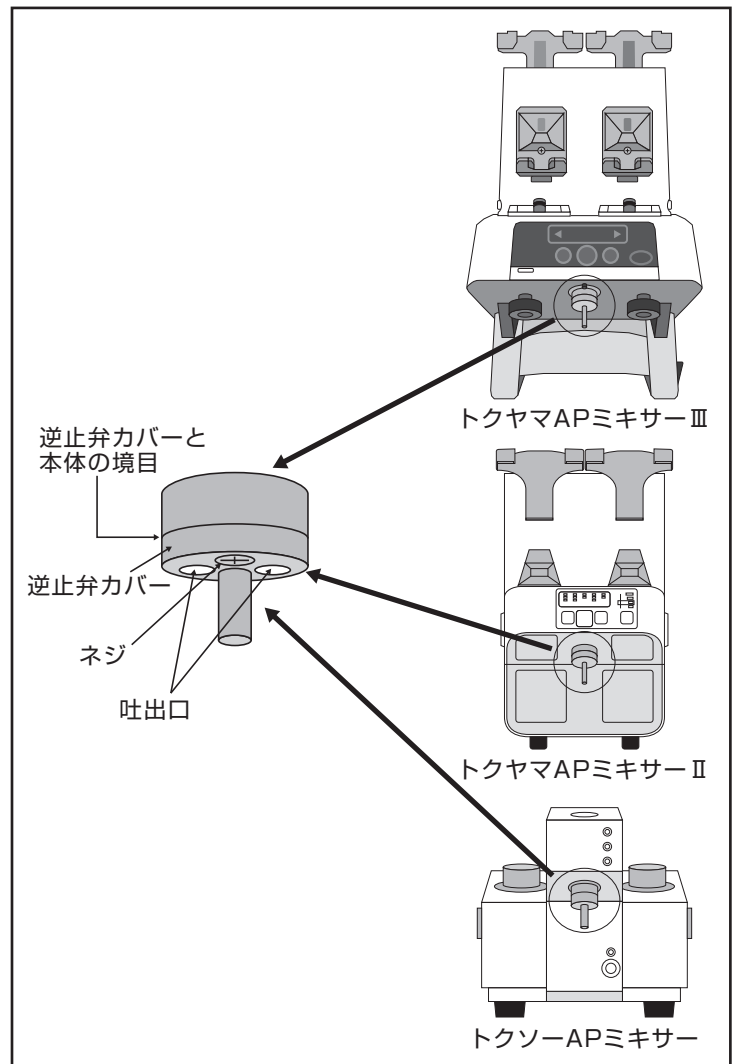


図1 逆止弁の設置場所

逆止弁の交換時期

1. ペーストを吐出していない時でも、逆止弁が図2のように大きく開いている場合。
2. 逆止弁がちぎれた場合。

※3ヶ月に一度の定期交換をおすすめします。

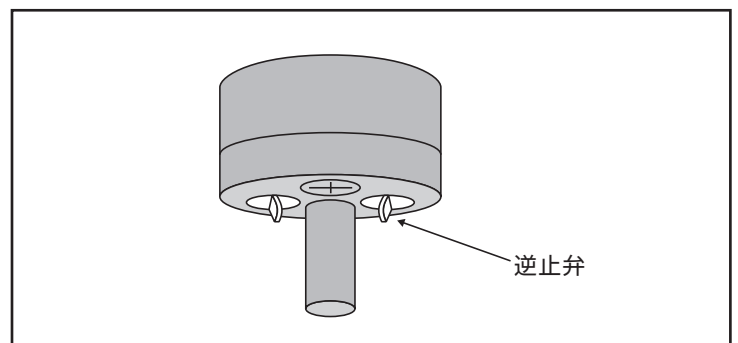
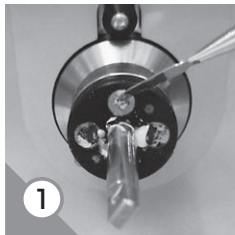


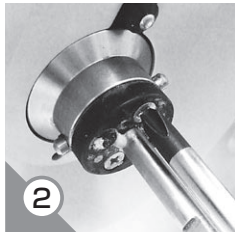
図2 逆止弁が大きく開いた状態

逆止弁の交換方法



1. ネジ溝の汚れを取る

ネジ溝に硬化したペーストが付着しているため、水分で硬化物を軟化させた後に、金属のインスツルメントなどで除去して下さい。



2. ネジを取る

プラスドライバー(No.2)を使用してネジを外して下さい。ネジを外すと使用済逆止弁は手で取り外せます。

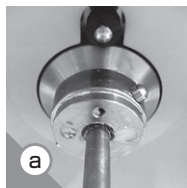
注：ネジ山が潰れないように、ドライバーはネジに押し付けて回して下さい。



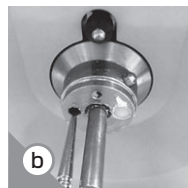
3. 吐出口周りを清掃

逆止弁を外した後に、吐出口周りの汚れを、ティッシュなどを用いて清掃して下さい。攪拌軸に硬化したペーストが付着している場合は、清掃棒などを用いて清掃して下さい。

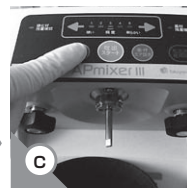
●更に吐出口内にペーストの硬化物が詰まっていた場合は以下の手順にて清掃して下さい。



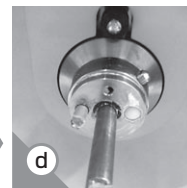
吐出口内の詰まりを確認。



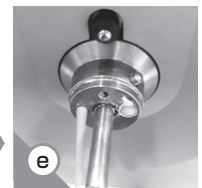
細い金属の探針等で穴の中の硬化物を崩す。



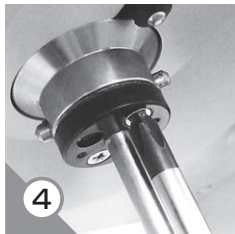
ラバーボウル等を置いてエア抜きの準備。



エア抜きボタンを押して、ペーストを吐出させる。



※エア抜きの際は電源を入れて操作を行って下さい。



4. 新しい逆止弁を装着する

付属のネジで、逆止弁をミキサー本体に固定します。この時必ず添付の新しいネジを使用して下さい。またネジで固定する際、必要以上にネジを強く回すと、逆止弁が破損する恐れがありますので、必要以上の締め付けは避けて下さい。

また、ネジは片側だけを最後まで締めると固定不良や逆止弁の破損の原因になりますので、逆止弁の穴と攪拌軸の中心を揃えるようにして両方のネジを交互に少しずつ締めて下さい。



5. 吐出チェック

逆止弁の固定後に電源を入れ、ペーストを吐出させて、硬化材・基材両方のペーストが吐出されているか、確認して下さい。

両ペーストの吐出が確認できましたら、交換作業は終了です。

もしも、ペーストの吐出不良や、ペーストの漏れが発生した場合は、ネジの締め過ぎや、固定不良が考えられますので、一度交換用逆止弁をはずし、吐出口周りや逆止弁内面、ネジ等の汚れを清掃した後、再度「4. 新しい逆止弁を装着する」から作業をやり直して下さい。

注：使用済みの逆止弁及びネジは産業廃棄物として廃棄して下さい。

*記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂することがあります。

●お問い合わせ先

株式会社 トクヤマデンタル

☎0120-54-1182